

対象地域：秋田県

再生課題：森林の再生

もりよしさんろくこうげん

森吉山麓高原自然再生協議会

再生
目標

草地造成事業（昭和40年代）以前のブナ林等を再生し、クマゲラの生息に適した環境の拡大を目指す。



- 協議会事務局
秋田県 自然保護課、森林整備課
- 対象地域
秋田県北秋田市森吉山麓
(国指定森吉山鳥獣保護区)
- 協議会 : H17. 7. 19 設立
- 全体構想 : H18. 3. 31 策定
- 実施計画 : H18. 10. 20 策定 (第一期)
H21. 4. 27 変更
H23. 3. 23 策定 (第二期)
H28. 3. 18 策定 (第三期)
R 3. 3. 31 策定 (第四期)
(R6. 3現在)



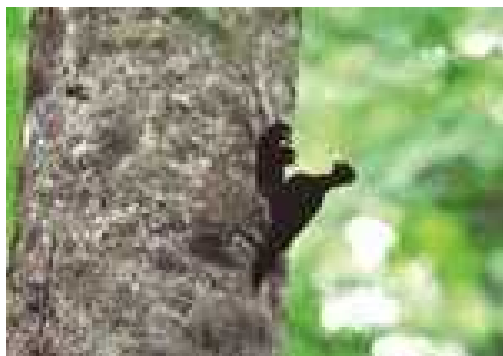
ブナをはじめとする落葉広葉樹林やクロベ、スギ、キタゴヨウなどの常緑針葉樹林が広がる森吉山麓高原周辺は、本州では数少ないクマゲラの繁殖地となっています。

しかし、昭和40年代から約490haのブナ林が牧草地に改変され、野生動植物の生息・生育域が分断・縮小されました。このため、周辺の森林生態系保護地域や

「緑の回廊」と連続する広大な森林を形成し、豊かな自然環境の指標ともいえるクマゲラやそのほかの動物の生息と安定した繁殖に繋げるため、失われたブナを主体とする広葉樹林の再生に向けた取り組みを進めています。

自然再生の手法

- ブナなどの広葉樹の植栽
- 多様な主体の参画による再生の推進



営巣中のクマゲラ



100年後の森づくり